



No.61

令和3年4月27日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



今号から「議会だより」が
20ページにパワーアップしました！
アンケートも入ってます！



※撮影時のみマスクを外しています。

関連記事 P20

Contents

特集	出前懇談会 / 当初予算について……………	2
臨時会・定例会	専決処分の承認や新年度予算について審議……………	6
活動報告	近助タクシー視察 / 関西電力舞鶴発電所視察……………	11
一般質問	山林の整備 など 6人登壇……………	13
追跡	佐分利川浚渫工事（ちょっと深掘り版）……………	19

懇談会

内で活躍されている若手の輝く人と、広報
開催しました。

関心度、おおい町のまち
ました。

■ 議会への関心は？

- ・正直言って関心はあまりない。
- ・輝く人に出て議会だよりには興味は出たけど、議会自体にはそれほど関心はない。
- ・普段何しているのか分からない。議員が何人か知らないし…。(14人です👉)
- ・おおい町に帰ってきたときは関心がなかったけど、自分が輝く人に出てから少しだけ注目はしている。

■ 議会へ望むことは？

- ・おおい町には貴重な文化財等が沢山あるので、それらをもっと勉強してほしい。
- ・懇談会で出た意見を政策に反映できるよう頑張してほしい。
- ・起業、創業支援やその他町の補助制度の情報提供を。



懇談会の様子。終始和やかに懇談しました。

60号

萩原 裕記 さん



住みやすい環境づくりの強化を。
おおい町に住みたい人は多いので、家を建てやすくするための政策が必要では。

50号

木下 仁資 さん



自分たちの活動がいずれは伝統になる様にと
がんばっている。その伝統を受け継ぐ子ども達
次世代に文化教育の充実を。

46号

下森 弘之 さん



おおい町にある大切な文化を守りたい。
議員の情報収集能力の向上を。



議会図書室です。ここで議会だよりを作成しています。

輝く人 あつまれ!! 出前

議会だよりの輝く人に登場いただいた、町特別委員会のメンバーで、議員出前懇談会を議会だよりに掲載された反響や、議会へのづくりについて、さまざまな意見交換を行い

52号 大西 陽子 さん



中学校に太鼓等の文化的な部活を作ってほしい。音楽好きが練習できる防音設備が整った施設があるといいな。

■ 輝く人に掲載されてから…

- ・職場のみんなから見たよと声を掛けられ、反響はあった。
- ・自分が出てから議会だよりを見るようになった。
※興味があるところだけですけどね(笑)
- ・輝く人に誰が出るのか興味を持つようになった。etc.

59号 田中 弘大 さん



チャレンジショップの情報が欲しい。結婚祝いの強化を。

■ おおい町のまちづくりについて…

- ・おおい町の子育て支援は凄い。特に医療窓口無償化は働く母親にとってはすごく嬉しい。
- ・こどもの頃に受けた教育によっては、一度外に出ても帰ってきたくなる。おおい町の素晴らしい文化、伝統的な行事やイベントに参加しながらの教育をしてほしい。
- ・土日に行ける場所がない。魅力があり楽しめる場所の充実を。(特にうみんぴあ大飯エリア)
- ・1万人呼ぶより100人が100日滞在している方が経済効果はある。視点を変えたアプローチも必要。

令和3年度当初予算を可決しました

令和3年度の主な事業と、予算決算常任委員会における審議の内容（主な質疑）をご報告します。

交通



●デマンドバスの運行（大飯地域）

37,511 千円

4月から試行運行、10月から本格運行を予定

●70歳以上のデマンドバス利用者に対して、外出支援として、200円を助成する。

●高齢者免許証自主返納支援事業

4,431 千円

- ・免許返納者に対し2万円分のタクシー券を助成
- ・電動アシスト三輪自転車の購入に助成
- ・デマンドバスの利用料を5年間無料に

問 70歳以上の運転免許返納者へのデマンドバス無料事業の実施時期は。

答 10月のデマンドバス本格運行から事業を開始する。



電動アシスト三輪車

住宅

●おおいの住まい支援事業 16,800 千円

新たに、新婚・子育て世代が空き家を活用する場合に住まい支援事業補助を行い、移住・定住促進を図る

問 子育て世代の定義（子供の年齢）は。

答 18歳未満の子供がいる世帯として

いる。



商工



※P17に関連記事あり

●チャレンジショップ整備事業

1,025,404 千円

チャレンジショップ整備と外構工事費

●商工会館（テナント棟）の整備補助

409,575 千円

チャレンジショップ棟に隣設する商工会館の整備に対する補助

●企業振興対策事業（産業団地造成）

274,880 千円

●ポイントカード発行機器更新事業

5,200 千円

問 発行機器の更新に伴う店舗の初期整備負担は。

答 商工会で機器を整備し店舗に貸与、手数料等のランニングコストは店舗負担となる。

観光振興

●若狭おおいのスーパー大火勢

60,195 千円

●名田庄星のフィエスタ

10,500 千円

●うみんぴあフェスタ

10,000 千円

問 コロナ禍におけるイベントの方針は。

答 ポストコロナを見すえながら基本的には行う方向であるが、緊急事態宣言の推移や、イベントの運用の基準、ガイドラインなどを元にしっかりと感染対策を工夫し、全く中止になってしまうことの無いよう実行委員会と協議しながら取り組む。

各会計別の予算額は次のとおりです。

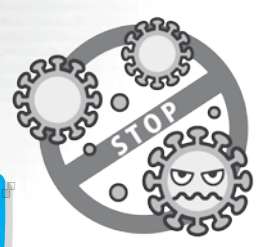
令和3年度当初予算

会 計	当初予算額		
	本年度	前年度	増減率
一般会計	117億 300万円	99億 7900万円	17.3%
後期高齢者医療	1億 125万円	9139万円	10.8%
国民健康保険	9億 1434万円	9億 1871万円	△0.5%
国民健康保険診療	9479万円	9524万円	△0.5%
介護保険	9億 6515万円	9億 8061万円	△1.6%
介護サービス	617万円	613万円	0.6%
簡易水道	2億 7581万円	4億 8624万円	△43.3%
農業集落	3億 7765万円	4億 1969万円	△10.0%
特定環境保全公共下水道	1億 2271万円	1億 3483万円	△9.0%
合 計	145億 6087万円	131億 1184万円	11.10%

財源のうち主な原発関連収入
(歳入全体の55.6%)

項 目	金 額
町 税	3,322,297 千円
国庫支出金	1,934,519 千円
県 支 出 金	1,249,534 千円
合 計	6,506,350 千円

新型コロナ対策



●**予防事業 (新型コロナワクチン接種)**
53,701 千円
ワクチン接種にむけて、可能な限り迅速に対応

問 2回接種するための予約体制は。
答 1回目の予約時に2回目の予約をすることで日数を開けて接種できる体制を取る。

子育て



●**母子保健事業** 1,100 千円
新たに、3歳児検診時に視機能測定検査を行い、視機能異常の早期発見、早期治療に繋げる

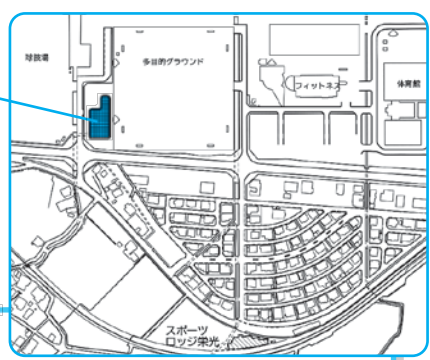
問 3歳児検診の受診方法は。
答 町では集団検診を実施しており、受診率はほぼ100%である。

林業

●**町行分収造林事業** 19,529 千円
町行分収造林の皆伐を名田庄染ヶ谷地係において行う

問 皆伐後の再造林計画は。
答 伐採後、再造林として広葉樹を植林し、植林後は森林組合とも協力しながら保育なども進めていく。(P13に関連記事あり)

建設予定地
合宿施設



スポーツ

●**総合運動公園管理事業 (合宿所整備)**
55,720 千円
現合宿所 (スポーツロッジ栄光) が老朽化していることから、新たなスポーツ・文化体験交流合宿施設の整備に向け実施設計を行う

問 計画地の地盤調査は。
答 周辺の建物等の情報も得ながらしっかりとボーリング調査を行う。

令和3年第1回（1月）臨時会 議案審議結果

議案番号	件 名	審議・付託	議決結果	参照先
議案 1	工事請負契約の締結について	〈全協〉	原案可決	P7
—	委員会の閉会中の継続調査	—	閉会中の継続調査	

令和3年第2回（3月）定例会 議案審議結果

議案番号	件 名	審議・付託	議決結果	参照先
承認 1	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度一般会計補正予算(第5号))	〈全協〉	承認	P7
議案 2	令和2年度一般会計補正予算（第6号）		原案可決	
議案 3	令和2年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決	
議案 4	令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）		原案可決	
議案 5	令和2年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第3号）		原案可決	
議案 6	令和2年度介護保険事業特別会計補正予算（第4号）		原案可決	
議案 7	令和2年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	P8
議案 8	令和2年度簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）		原案可決	
議案 9	令和2年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）		原案可決	
議案10	令和2年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案11	課設置条例の一部改正について		原案可決	
議案12	名田庄総合事務所設置条例の廃止について		原案可決	
議案13	国民健康保険税条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	P9
議案14	町立学校設置条例の一部改正について		原案可決	
議案15	国民健康保険条例の一部改正について		原案可決	
議案16	介護保険条例の一部改正について		原案可決	
議案17	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		原案可決	
議案18	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		原案可決	P10
議案19	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	〈予算〉	原案可決	
議案20	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営ならびにおおい町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について		原案可決	
議案21	令和3年度一般会計予算		原案可決	
議案22	令和3年度後期高齢者医療事業特別会計予算		原案可決	
議案23	令和3年度国民健康保険事業特別会計予算		原案可決	
議案24	令和3年度国民健康保険診療事業特別会計予算	〈全協〉	原案可決	P10
議案25	令和3年度介護保険事業特別会計予算		原案可決	
議案26	令和3年度介護サービス事業特別会計予算		原案可決	
議案27	令和3年度簡易水道事業特別会計予算		原案可決	
議案28	令和3年度農業集落排水事業特別会計予算		原案可決	
議案29	令和3年度特定環境保全公共下水道事業特別会計予算		原案可決	
議案30	工事請負変更契約の締結について（東部中継ポンプ場改良工事）	〈全協〉	原案可決	P10
議案31	若狭広域行政事務組合の共同処理する事務の変更および規約の変更に関する協議について	〈総務〉	原案可決	
議案32	若狭消防組合規約の変更に関する協議について	〈全協〉	原案可決	
議案33	令和2年度一般会計補正予算（第7号）		原案可決	
発委 1	おおい町議会委員会条例の一部改正について		原案可決	
発議 1	2050年脱炭素社会の実現における原子力政策の明確化を求める意見書について		原案可決	
—	委員会の閉会中の継続調査	—	閉会中の継続調査	

賛否が分かれた議案

	屋敷	田中	堤	桑田	細川	原田	藤原	辻	尾谷	猿橋啓	浜上	今川	松井	猿橋巧
議案 1	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	欠	○	○
議案 2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案11	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	○
議案12	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	○
議案13	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案14	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	退
議案16	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	退
議案21	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案23	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	退
発議 1	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席（※尾谷議長は採決に加わらない。）

※略称 〈全協〉議員全員協議会、〈総務〉総務常任委員会、〈産建〉産業建設常任委員会、〈予算〉予算決算常任委員会
〈原特〉原子力発電対策特別委員会、〈振興〉地域振興対策特別委員会

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

第1回臨時会
産業団地造成工事請負契約を可決

審議内容

臨時会に付議された、議案1件を審査した。

議案審議

議案1号〈全協〉

工事請負契約の締結について

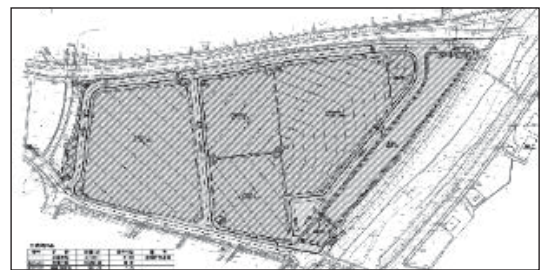
- 町の有利で特色ある立地条件を活用した企業誘致を推進し、雇用の拡大と商工業の発展を目的として、舞鶴若狭自動車道大飯高浜インターチェンジ付近の石山地係に産業団地を造成するもの。
- 契約金額 4億9775万円
- 契約の相手方 株式会社山本組
- 整備面積 48035.67㎡

主な質疑

農地転用等必要な許認可は。

答

令和2年12月15日に農地転用許可と開発行為の許可が下りた。



造成現場の平面図

【全会一致・可決】

※P19「あれからどうなったの？」に関連記事あり

第2回例会
新年度当初予算などについて審議

審議内容

定例会に付議された、承認1件、議案32件、発委1件、発議1件、を審査した。

専決処分の承認

承認1号〈全協〉

令和2年度おい町一般会計補正予算(第5号)

新型コロナウイルスワクチンの予防接種の準備体制を整えるための緊急的な経費。

259万円増額

主な質疑

ワクチンの接種場所は。

なごみ診療所といきいき館を想定している。

【全会一致・可決】

議案審議

議案2号〈全協〉

令和2年度おい町一般会計補正予算(第6号)

5億295万円減額

主な減出内容

○農作物鳥獣害対策事業

138万2千円増額

○除雪対策事業

1500万円増額

○中学校管理事業

308万7千円増額

主な質疑

各種団体がコロナ禍で実施できなかった事業についての補助金減額の考えは。

【賛成多数・可決】

令和2年度おい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

965万9千円増額

【全会一致・可決】

令和2年度おい町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

31万円減額

【全会一致・可決】

問

商工会テナント棟補助金が令和3年度に持ち越しとなったが、完成予定はいつになるか。

答

年度初めに発注し、年度内の完成と聞いている。

討論

反対 猿橋 巧議員

一般職員期末手当の減額補正は、新型コロナウイルス対策にあたる公務員に対し、労に応えるものでないことから反対する。

【全会一致・可決】

議案6号〈全協〉

令和2年度おい町介護保健事業特別会計補正予算(第4号)

1104万8千円減額

【全会一致・可決】

議案7号〈全協〉

令和2年度おい町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

【全会一致・可決】

議案4号〈全協〉

令和2年度おい町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

986万2千円減額

【全会一致・可決】

議案5号〈全協〉

令和2年度おい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第3号)

236万2千円減額

【全会一致・可決】

●議案8号〈全協〉

令和2年度おい町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）

2241万2千円減額

【全会一致・可決】

主な質疑

問 住民サービス室が入る里山文化交流センターの条例改正は。

答 条例改正の必要はない。

問 里山文化交流センター休館日の行政サービス業務は。

●議案9号〈全協〉
令和2年度おい町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）

2900万6千円減額

【全会一致・可決】

答 休館日は火曜日であるが、行政サービス業務は行う。

【賛成多数・可決】

●議案10号〈全協〉

令和2年度おい町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

778万7千円減額

【全会一致・可決】



里山文化交流センター内
住民サービス室窓口

●議案11号〈全協〉

おい町課設置条例の一部改正について

管理課を廃止し、行政機能の一部を里山文化交流センターへ移転する。

●議案12号〈全協〉

おい町名田庄総合事務所設置条例の廃止について

管理課の廃止に伴い、当該条例を廃止するもの。

【賛成多数・可決】

●議案13号〈総務〉

おい町国民健康保険税条例の一部改正について

標準保険料に対し、一定の水準となるよう税率の改正を行うもの。

主な質疑

問 どのような方法で県の標準保険料に合わせるのか。

答 15年間の激変緩和計画として、一般会計からの繰入れを徐々に減らし、令和10年度からの5年間は基金を投入し税率をあわせる。

問 資産割は何年間で無くなるのか。

答 平成30年度から令和5年度までの6年間で無くしていく計画である。

討論

●反対 猿橋 巧議員

激変緩和対策があるとはいえ、毎年保険料が値上げされることは町民に

負担を強いるものであることから条例改正に反対する。

○賛成 屋敷浩道議員

高齢化や医療の高度化により医療費は増加しており、多くの市町で制度の運営が厳しい状況となっているなかで、15年間の激変緩和措置を設け被保険者を十分配慮した計画を策定しているため賛成する。

【賛成多数・可決】

●議案14号〈総務〉

おい町立学校設置条例の一部改正について

おい町立大飯幼稚園を廃止することに伴う条例の一部改正を行うもの。

主な質疑

問 町内の保育園が認定こども園に移行した後に廃校する計画であったが、もう一年早く条例改正できなかったのか。

答

こども園に移行後すぐにではなく、一年間様子を見るために今回の改正になった。

【全会一致・可決】



●議案15号〈総務〉

おい町国民健康保険条例の一部改正について

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正に伴い、国民健康保険の傷病手当支給に関連する、新型コロナウイルス感染症の定義が改められたことにより、所要の改正を行うもの。

【全会一致・可決】



●議案16号〈総務〉

おい町介護保健条例の一部改正について

介護保険法第129条の規定に基づき、令和3年度から令和5年度までの第1号被保険者の介護保険料を定めるもの。

【全会一致・可決】

●議案17号〈総務〉

おい町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

【全会一致・可決】

●議案18号〈総務〉

おい町地域指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

【全会一致・可決】

●議案19号〈総務〉

おおい町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について

【全会一致・可決】

●議案20号〈総務〉

おおい町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びにおおい町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について

議案第17号から議案第20号までの4議案は「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令」の施行に伴い、所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 人員配置基準の緩和は、他業種兼務を認めるといふことか。

答 例えば施設系サービスの場の梅苑では、従来型と認定型を併設する場合に、入所者の処遇に支障がなければ、介護や看護の兼務が可能である。

問 この条例と併せてスタッフを大事にするような施策を考へるべきではないか。

答 様々な課題がその都度生じてきた場合の柔軟な対応が必要であると考へる。しっかりと現場の皆さまと協議をしながら進めていく。

【全会一致・可決】

●議案21号〈予算〉

令和3年度おおい町一般会計予算
117億300万円

※P2・P3（特集ページ）に関連記事あり。

討論

●反対 猿橋 巧議員

原発関連財源が55・6%と原発依存予算であること、こども家族館指定管理の不備、個人番号カードの利点不明確、防犯カメラ設置によるプライバシー侵害など、問題であり反対する。

○賛成 細川正博議員

歳入では国からなどの財源確保が図られ、歳出では、新型コロナウイルス関連の予算、町の賑わいや子育て、交通政策などの事業が計上されており、速やかに成立させる必要があるため賛成する。

【賛成多数・可決】

●議案22号〈予算〉

令和3年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計予算
1億125万2千円

【全会一致・可決】

●議案23号〈予算〉

令和3年度おおい町国民健康保険事業特別会計予算
9億143万3千8百円

【全会一致・可決】

●議案24号〈予算〉

令和3年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計予算
9479万円

【全会一致・可決】

●議案25号〈予算〉

令和3年度おおい町介護保健事業特別会計予算
9億6515万円

【全会一致・可決】

●議案26号〈予算〉

令和3年度おおい町介護サービス事業特別会計予算
616万7千円

【全会一致・可決】

●議案27号〈予算〉

令和3年度おおい町簡易水道事業特別会計予算
2億7580万2千円

【全会一致・可決】

●議案28号〈予算〉

令和3年度おおい町農業集落排水事業特別会計予算
3億7765万1千円

【全会一致・可決】

●議案29号〈予算〉

令和3年度おおい町特定環境保全公共下水道事業会計予算
1億2271万7千円

【全会一致・可決】

●議案30号〈全協〉

工事請負変更契約の締結について（東部中継ポンプ場改良工事）

既設の流入管に経年などによる劣化が認められたため、布設替え工事を追加変更するもの。

・変更契約金額 143万円
・変更後契約金額 5830万円

・契約の相手方 荏原商事株式会社

主な質疑
問 流入管の劣化は開削してわかったのか。

答 埋設管であり、開削後に劣化が認められた。

【全会一致・可決】

●議案31号〈総務〉

若狭広域行政事務組合の共同処理する事務の変更および規約の変更に関する協議について

嶺南4市町で構成する若狭広域行政事務組合のうち、小浜市、高浜町およびおおい町が共同処理する事務、斎場の設置や管理及び運営に関する事務を追加することに伴い、組合規約の一部変更について、関係市町と協議するもの。

主な質疑

問 斎場の計画策定の完了年度は定めなのか。

答 用地の選定、計画の策定に取りかかることが第一の趣旨であり、供用期間などを計画するものでないため完了年度は今回定めていない。

【全会一致・可決】

●議案32号〈総務〉

若狭消防組合規約の変更に関する協議について

旧大飯町および旧名田庄村が合併したことによる普通交付税の算定における合併算定替による措置が令和2年度をもって終了することに伴い、経常的経費の負担金分賦方法を変更する必要があるため、組合規約の一部変更について、関係市町と協議するもの。

【全会一致・可決】

●議案33号〈全協〉

令和2年度おおい町一般会計補正予算（第7号）

障がい福祉サービスなどの報酬改定に伴い、給付システムの改修において、国からの詳細な改定内容が明らかになったが、改修に相当の日数を要するため、年度内での事業完了が見込めないことから、「地域生活支援事業」の予算を繰越すもの。

105万3千円

【全会一致・可決】

●発委1号〈全協〉

おおい町議会委員会条例の一部改正について

おおい町課設置条例の一部改正に伴い、常任委員会の所管を変更するもの。

【全会一致・可決】

国に対して意見書を提出

●発議1号〈全協〉

2050年脱炭素社会の実現における原子力政策の明確化を求める意見書の提出について

地球温暖化防止や脱炭素社会の実現、さらに小資源国である我が国においては、電力の安定供給や経済性の観点から、原子力発電は重要なベースロード資源であることがエネルギー基本計画において示されています。

1 第6次エネルギー基本計画の策定に向けた検討において、エネルギー自給率やこの先の既設発電所の運転延長、廃炉の計画を見据え、新增設やリブレースをはじめ今後の原子力発電の在り方を明確に示すこと。

2 中間貯蔵、最終処分等の諸課題が顕在化する現状において、国策として原子力政策の必要性並びに重要性を丁寧に説明し、国民の理解を得ること。

賛成多数をもって、意見書を提出することが可決されました。

国民全体の理解促進に努め、第6次エネルギー基本計画の策定にあたって、明確な方向性を示すべきであるものと考えことから、政府に対して意見書を提出するもので、意見書の内容は次のとおりです。

永平寺町の近助タクシーを学ぶ

総務常任委員会視察研修

期 日 令和3年1月20日

場 所 永平寺町松岡春日1-4

永平寺町議会議務局

〔参加者〕

おおひ町議会

委員 8名 委員外 1名

議会議務局 2名

永平寺町

町長 総合政策課 2名

議会 4名

議会議務局 2名

おおひ町では令和3年4月からデマンドバスの試行運行が開始されています。今後の事業運営の参考とするため、永平寺町の近助タクシーについて視察研修を行いました。

○近助タクシーの取り組み

地域交通の課題

地域交通は、全国共通の課題で、運転手の不足、利用者の減少による路線の撤退、高齢者の交通事故の多発などさまざまである。

課題の解決のために

地域住民の移動手段の確保と利便性の向上のためにデマンド型自家用有償旅客運送を新たな移動手段として採用できないかを検証することにした。

現状分析

地域別のコミュニティバスの利用者運行経費、町の負担金などの現状から病院やスーパーのない地域に限定して実施することにした。

具体的な取り組み

取り組みにあたっては、各集落ごとに利用方法、運行ダイヤ、事故時の保険料などについて、意見交換会を行った。

期間を1年間とし、利用者は限定地域の事前登録者、申し込みは郵便局への電話予約、行先は病院・スーパー・公共施設で地元住民がドライバーとなつて始めることになった。

その後の取り組み

利用者の声を反映して、運行形態、運行日、目的地、運行時間の拡大、予約時間の変更など住民目線で対応することにした結果、利用者数は増加

することとなった。

さらなる取り組みへ

郵便局との連携で郵便物の配送を業務代行し、人と物の混載事業を始めることにした。

効果

ドライバーは地元の方で対応し、地域で支えあつことで利用する方々とのコミュニケーションがより強くなった。利用者はグループで各種活動に出向くなど、出かけることでの活性を生み、さまざまに相乗効果が発生した。

今回の視察では、河合町長はじめ議会からも丁寧な説明をしていただきました。

町民、行政、議会が一体となつて取り組んだ事業の成果は、おおひ町議会にとつて大変参考となり意義深いものでした。



北陸新幹線に関する意見交換会

期 日 令和3年2月16日

場 所 おおひ町役場正庁ホール

参加者 尾谷・藤原 松井・辻

細川・原田

小浜市議会の北陸新幹線早期全線開業特別委員会の9名の委員の方々と、北陸新幹線の開業に向けて、お互いの市町のまちづくりや取り組みについて意見交換を行いました。

・新幹線駅の名称については若狭がイメージできるものに！

・小浜市がリードして広域的に考える場を設けることが必要

・若者を交えて一緒に考えていくことが大事！

等々、前向きな話し合いができました。



撮影時のみマスクを外しています

関西電力舞鶴発電所視察

原子力発電対策特別委員会 所管事務調査

【期 日】 令和3年3月9日

【場 所】 京都府舞鶴市字千歳地内

関西電力株式会社

舞鶴火力発電所ほか

【参加者】 委員13名及び議長

原子力発電対策特別委員会では、カーボンニュートラル実現に向けての取り組みを始める関西電力舞鶴火力発電所を視察しました。

【視察順】 石炭を船から揚炭する総延長729mの栈橋→1時間に2000トン陸揚げ可能な揚炭機→密閉式ベルトコンベヤー→1基10万トンの貯蔵ができる石炭サイロ（5基）、1基5000トンのバイオマスサイロ（2基）→1基90万kW（2基）のボイラー建屋・煙道→脱硝（窒素酸化物を窒素と水に分解）・脱硫装置（硫黄酸化物を石こうとして回収）→高さ200mの

煙突

この煙突横の敷地に、経済産業省が個体吸収材を使って、これまでの半分以上のコストでCO₂を分離・回収を目指した、実証化試験を行います。

回収されたCO₂は、CCU（利用技術）やCCS（地中への貯蔵技術）の技術が確立されればCO₂削減に大きく寄与します、今後ともこのCCUSが普及し、若狭エリアの原子力発電と共に日本のエネルギーを支えていければと思います。



出典：関西電力（関西電力舞鶴火力発電所の全景）

国に対し、責任あるエネルギー政策の構築を要望

福井県原電所在地

議会特別委員会連絡協議会

【期 日】 令和3年2月12日

【場 所】 おおい町役場議員全員協議会室（Web会議）

【参加者】 県原協理事3名

福井県原電所在地議会特別委員会連絡協議会におきまして、経済産業省・原子力規制庁・内閣府に対し、web会議にて要望活動を実施致しました。

要望内容は次の通りです。

1 責任あるエネルギー政策の構築

（１）第6次エネルギー基本計画の策定に向けた検討に当たって、新增設やリプレースを含めた原子力発電の在り方について、明確な方針を示すこと。
（２）重要なベースロード電源である原子力発電の重要性、必要性について冷静な議論を行い、国民の理解が得られるよう、国による丁寧な説明を尽くすこと。
（３）使用済燃料等の放射性廃

棄物については国の強い責任のもと、中間貯蔵、最終処分等の諸課題を早急かつ確実に解決すること。

2 安全・安心な原子力発電所の 取り組み

（１）福島第一原子力発電所事故の原因の調査・検証を継続して行い、安全規制に確実に反映すること。
（２）各原子力発電所の廃炉について、国が責任を持って厳格な指導・監督を行うこと。

3 交付金の制度改正

（１）原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金の交付期間を解体撤去完了後10年までとすること。

4 立地地域対策

（１）防災・災害制圧道路が共用された後においても、その維持管理については支援策を講じ、更なるインフラ整備に当たっては全面的に国の責任において財源を確保すること。



WEBによる要望活動の様子

町政ことが聞きたい！

3月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。

町行分収造林事業の財源確保を

町長 補助制度を恒常的に維持してもらえよう
取り組み



細川 正博

問 名田庄染ヶ谷団地を選定した経緯は。

答 (農林水産課長) 県の未来へつなぐ森づくり事業では、被害被害森林の伐採や更新を推進しており、その条件に当てはまる森林ということ。また、森林木材に造詣が深い分収造林地の所有者から、かねてより試験的に皆伐を実施しては、との声かけがあった。

問 令和3年度当初予算に計上されている町行分収造林事業の詳細説明を。

答 (町長) 県の補助事業を活用したモデルケース事業で、令和3年から2ヶ年をかけ、名田庄染ヶ谷団地で12ヘクタールの皆伐実施を行う。

3年度については、6ヘクタールを皆伐し、約1,800立方の木材搬出を計画している。

問 町行分収造林事業の財源確保を

答 (農林水産課長) 町行分収造林事業では、被害被害森林の伐採や更新を推進しており、その条件に当てはまる森林ということ。また、森林木材に造詣が深い分収造林地の所有者から、かねてより試験的に皆伐を実施しては、との声かけがあった。

問 町行分収造林事業の財源確保を

答 (農林水産課長) 町行分収造林事業では、被害被害森林の伐採や更新を推進しており、その条件に当てはまる森林ということ。また、森林木材に造詣が深い分収造林地の所有者から、かねてより試験的に皆伐を実施しては、との声かけがあった。

問 町行分収造林事業の財源確保を

答 (農林水産課長) 町行分収造林事業では、被害被害森林の伐採や更新を推進しており、その条件に当てはまる森林ということ。また、森林木材に造詣が深い分収造林地の所有者から、かねてより試験的に皆伐を実施しては、との声かけがあった。

問 町行分収造林事業の財源確保を

問 この事業は県の補助を充当するた

答 (農林水産課長) 3年度施工分では、事業経費は1,950万円必要となり、立木売却益を1,250万円見込んで、700万円程度の赤字となる。これを分収率で案分すると、町が6割、420万円。地権者が4割、280万円の負担となる。

問 これから町行分収造林は伐期を迎えるため、財源の確保が必要では。

答 (町長) 今のままでは赤字となることから、大きな課題だと認識はしている。今回の補助制度を恒常的に維持してもらうよう取り組みたい。また、森林環境譲与税の使途については、

問 町行分収造林事業の財源確保を

答 (農林水産課長) 町行分収造林事業では、被害被害森林の伐採や更新を推進しており、その条件に当てはまる森林ということ。また、森林木材に造詣が深い分収造林地の所有者から、かねてより試験的に皆伐を実施しては、との声かけがあった。

問 町行分収造林事業の財源確保を

答 (農林水産課長) 町行分収造林事業では、被害被害森林の伐採や更新を推進しており、その条件に当てはまる森林ということ。また、森林木材に造詣が深い分収造林地の所有者から、かねてより試験的に皆伐を実施しては、との声かけがあった。

問 町行分収造林事業の財源確保を

答 (農林水産課長) 町行分収造林事業では、被害被害森林の伐採や更新を推進しており、その条件に当てはまる森林ということ。また、森林木材に造詣が深い分収造林地の所有者から、かねてより試験的に皆伐を実施しては、との声かけがあった。

国や県に明確にするよう要請していきたい。



町行分収造林 (※イメージ写真)

プレミアム商品券の発行を

問 昨年度に発行したプレミアム商品券の販売状況や使用状況について、現在把握している数値は。

答 (商工観光課長) 11月14日に販売開始し、3日目の16日に完売した。購入世帯は739世帯で、使用の内訳は、食料品関連の小売業が31%、自動車及び燃料関

問 昨年度に発行したプレミアム商品券の販売状況や使用状況について、現在把握している数値は。

答 (商工観光課長) 11月14日に販売開始し、3日目の16日に完売した。購入世帯は739世帯で、使用の内訳は、食料品関連の小売業が31%、自動車及び燃料関

問 昨年度に発行したプレミアム商品券の販売状況や使用状況について、現在把握している数値は。

係が30.5%、生活雑貨その他小売業が22.1%、建設及びサービス業が11.8%、飲食業が4.6%となっている。

問 購入世帯が町全体の25%と少なく感じる。購入できなかった世帯は、不公平感を感じているのでは。

答 (商工観光課長) プレミアム率が30%であり、商工会の努力で利用できる事業所が増えたため、短期間で完売したと分析している。購入したかったがすでに売り切れていたという声は多く聞かれたため、反省点の一つだと感じている。

問 反省点も踏まえて3年度も発行するべき。

答 (町長) 夏場の消費喚起につなげることも必要かと考えるため、できるだけ早い段階で取り組んでいきたい。

問 町行分収造林事業の財源確保を

答 (農林水産課長) 町行分収造林事業では、被害被害森林の伐採や更新を推進しており、その条件に当てはまる森林ということ。また、森林木材に造詣が深い分収造林地の所有者から、かねてより試験的に皆伐を実施しては、との声かけがあった。

問 町行分収造林事業の財源確保を

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

町の宝の活用について

町長

Webなどでの展覧会の実施を検討。
町の宝を誘客のチャンスとして捉えている

辻 徹

問 若州一滴文庫の茅葺館の改修を行ったが、現在の利用状況は。

答 (教育長) ドイツ、ノイマルクト市スポーツ少年団との交流事業や、台湾新北市淡水区との文化交流、またおおい町文化少年団の竹紙すきや型絵染め体験など、過去から伝承されてきた文化を体験学習する場として活用している。また、若者との協創の場として、政策コンテストに関するフィールドワークや交流会、まちづくり塾

の開催などで利用している。

問 改修後にシロアリが発生したが現在は。

答 (社会教育課長) 薬剤を注入し対処した結果、現在は発生が抑えられている。

問 茅葺館の利用方法や行事の案内などの情報発信が少ないが。

答 (社会教育課長) ホームページでは、利用方法などの案内が欠落していた。今後改善していく。



茅葺館外観

問 令和元年度に改修された収蔵庫の収蔵状況は。

答 (社会教育課長) 渡辺淳先生から寄贈いただいた絵画650点の保管が完了しており、残り約50点についても、この3月中に確認作業を行い、収蔵を完了する予定である。その他収蔵予定の美術品などは、今後随時作業を進めていく。

問 収蔵庫の管理状況は。

答 (社会教育課長) 収蔵庫は、本来微妙な温湿度管理が必要。収蔵過程で、庫内の温度と取り入れた外気温との差で、一時結露などが発生した経緯もあったが、

収蔵品に影響はなく、現在には落ち着いている状況。経験とノウハウを積み重ねながら、今後とも適切に管理を行っていく。

問 おおい町にゆかりのある儀山善来のある筆墨跡など数多くの宝があり、適切な保存環境を整備することが求められる。一部結露したが原因は判明しているのか。

答 (社会教育課長) 原因は判明している。今後の対応も十分検討している。

問 収蔵庫内の空気調和設備は十分機能しているか。

答 (社会教育課長) 木造建築のため、気密性は若干弱い部分もあるが、外気の影響を受けにくい二重壁設計であり、高断熱である。また除湿機能付きの空調を設置し常時運転して対応している。

問 収蔵庫の機能をフルに発揮する、また機能を強化していくなどの温湿度管理計画をしっかりと立てるために、専門家に入ってもらふべきでは。

答 (社会教育課長) 現在そういったことに詳しい方から助言をいただいている。結露などの発生については、異常を早く感知し、すぐに対応していくことが最も重要だと考えている。



収蔵庫外観

問 町の文化財、文化施設の今後の活用の方向性は。

答 (町長) 適正に管理をしつつ、皆さんに来ていただけるために、一滴文庫、歴史館、

史料館の連携によるPRも必要だと思っており、新年度予算にも計上している。

※若州一滴文庫 収蔵庫
総工費 724.9万円
令和元年整備完了



※儀山善来
1800-178年。臨済宗の僧。おおい町大島(畑村)の漁師の息子として生まれ、十一歳のとき高浜町長福寺で得度。廃仏運動など仏教受難の時期に門下から由利滴水(天龍寺派)管長ら逸材を育てた。



森林整備の取り組み姿勢は

町長 「資源循環の森」と「環境保全の森」を推進



桑田 和弘

問 国が森林に対して本腰を入れて取り組む姿勢が見える中、町の森林整備の取り組み姿勢は。

答 (町長) 県の「資源循環の森」と「環境保全の森」の森林整備を基本理念に森林資源の維持増進を推進し、森林環境譲与税を活用した森林経営計画が策定できるよう支援と保育間伐などの実地の支援を推進する。

問 境界確認や間伐を行うにも、作業道



間伐実施後の山林

答 (農林水産課長) 町では、森林経営管理制度の調査、研究を始めて日が浅いことから、県からの情報収集や近隣市町と意見交換をしながら町の制度設計にまじまじしていけるよう検討する。

答 (農林水産課長) 県は「コミュニティ(集落)」を単位として支援を行う「コミュニティ林業」を進めている。また、「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を活用し、里山林の保全管理活動をされている所もある。

問 「コミュニティ林業」の活動支援は、一年間である。間伐の計画年数程度延長できないか。

答 (農林水産課長) 県の支援であるので延長できない。

問 集落等の生活圏に密接する森林について、生活環境を守るための整備・保全はできないか。

答 (農林水産課長) 斜面方向に沿って列状に伐採する列状間伐や等高線に沿って横断的に伐採する帯状間伐などを実施することにより、そこに広葉樹が植生し、結果、針葉樹と広葉樹が混在する針広混交林への誘導が推奨されている。また、広葉樹がドングリなどを落とすようになれば、野生動物の生育の場となる。

問 造林不敵地の人工林は、針広混交林として環境保全の森へ誘導していく、奥地に野生動物の生息、生育の場を作り、生物多様性の保全などの森林に誘導してはどうか。

答 (農林水産課長) 斜面方向に沿って列状に伐採する列状間伐や等高線に沿って横断的に伐採する帯状間伐などを実施することにより、そこに広葉樹が植生し、結果、針葉樹と広葉樹が混在する針広混交林への誘導が推奨されている。また、広葉樹がドングリなどを落とすようになれば、野生動物の生育の場となる。

県道岡田深合線について

問 平成28年度には、4つのルート案の中から、町道大津呂線か

ら小浜市、〇小屋集落を結ぶルートに決まったがその後の進展は。

答 (町長) 県に確認した所、嶺南地域における重要な路線と認識しており、現在事業化に向けて、資料収集なども含め検討中である。

問 可燃ごみ処理施設、斎場、埋め立て処分場、広域ごみ中継施設が各市町に整備されると、ますます重要な道路となってくるが町の考えは。

答 (町長) 現在同盟会に示されている計画は、延長が約3.8km、内トンネルが1.8kmと、事業規模や事業費が、大きなものとなる。坂本高浜線の完了後ではなく、前倒しとする中で取り組んでいただくことを引き続き要請をかけていく。



町道本郷野尻線の狭あい道路の拡幅について

問 町道本郷野尻線の400mの区間が非常に狭い、道路幅を広くして、安全に通れる道路に改良できないか。

答 (建設課長) 集落を結ぶ主要な町道においては、ある程度の道路幅員の確保は重要なことと認識している。町の道路整備全体の中で、緊急性や財政状況等も勘案し今後の中長期的な課題として検討する。

公共施設等の大規模改修に必要な財源確保は

副町長 国県の補助金や維持補修に備えた基金を活用する



原田 和美

問 「公共施設等総合管理計画※」に基づく公共施設等の管理と縮減目標への考え方は。

答 (町長) ①利用の少ない施設の廃止、休止、用途変更を検討する ②施設更新を検討する際には利用者数を適切に見据えた規模とする

③少しでも長く施設を使い続けられるよう長寿命化を図る ④管理方法の見直しや広域連携等により維持管理費の削減に努める の4つの考え方に基づき縮減目標の達成に向けていきたい。

問 公共施設等の廃止、休止、用途変更について、住民が参加する検討委員会の立ち上げは考えているか。

答 (総務課長) それぞれの施設によって利用に違いがあることから、具体的には個々に検討を行いその内容について丁寧に住民に説明をする必要があると考える。

問 国庫補助金を受けた施設の用途変更について、現状は。

答 (総務課長) 国の補助金を受けた財産の処分については、基本的に建設から10年が経過し、各省庁が定める条件を満たす場合は、補助金を返還せず多目的への

問 施設の長寿命化計画の内容は。

答 (総務課長) 施設の利用状況や劣化状況を踏まえ、長寿命化を図る場合のコスト等を試算する個別計画となっている。

問 あみーシャン大飯店のゆつたり温泉とシーサイドスパとおおいの湯、フィットネスセンターのプールとシーサイドスパのプールなど町内の類似する施設の長寿命化計画について、それぞれの施設のあり方は将来的な課題になると考えるが、町の方針は。

答 (副町長) 利用者の層や設置の目的

が違つ中で、今後の人口減少と利用状況、更新の時期などを見計らいながら、再編を検討する必要があるのではと考えている。



答 (総務課長) 計画の見直しには相応の経費がかかることから、時期を見極めながら検討する。

問 今後の施設の大規模改修や更新に必要な財源確保の方針は。

答 (副町長) 更新等に必要な経費については、できるだけ補助率の有利な国・県等の補助制度を活用するほか、公共施設維持補修基金等の維持補修に備えた基金を活用する。また、有利な起債についても活用を考へる必要がある。

問 公共施設等について、住民との情報共有は。

答 (町長) 利用者である住民の皆さんとの情報共有の観点をしっかりと持ち管理を進めていく。

※公共施設等の老朽化と人口減少等による利用需要の減

小中学校や地域でのエネルギー教育の現状は

問 脱炭素社会やSDGsの学びの中で、町内でのエネルギー教育の現状は。

答 (教育長) 小中学校では、学習指導要領や教育計画に基づくカリキュラムの中でエネルギー教育を、また地域では女性団体やサークル、公民館において、原子力発電における地層処分事業についてなどの勉強会が行われている。

今後も学校間の情報交換や住民団体との連携を図りながら、エネルギーに関する学びの場の充実を図っていく。

チャレンジショップ棟の工事は順調か

町長 本年11月完成予定であり、今後オープンに向けた業務を計画的に進める



猿橋 啓一

問 チャレンジショップ棟の建設工事と管理運営業務は順調か。

答 (町長) チャレンジショップ棟は、現在基礎工事を行っており、予定どおり本年11月の完成予定である。管理運営については指定管理者とテナントやシェアオフィスを誘致するための準備やアトリウムを活用した誘客イベントの企画立案に取り組んでいる。今後、オープンに向けた業務を計画的に進める。



問 施設の名称について、当初は公募すると聞いたが、どのような状況か。

答 (町長) よりコンセプトに沿った名称にするため、専門家の力を借りながら進めたいと考えている。

問 隣接する商工会館の建設工事はチャレンジショップ棟の完成頃か。

同時オープン時期は令和4年3月頃か。

問 時期に間に合うのか。

答 (商工観光課長) 商工会からは令和3年12月末に完成させたいと聞いている。

2つの施設の同時オープンを視野に入れ商工会と調整していく。

問 同時オープンの時期は令和4年3月頃か。

答 (商工観光課長) 令和4年春頃を目標としている。

問 商工会館(テナント棟)の入居店舗数と想定する業種の構成は。

答 (商工観光課長) 現時点でテナントスペースの7割についてアウトドアショップ関連の事業者と協議をし、残り3割については、公募も含め、出店について調整する予定であると聞いている。

問 7割がアウトドアショップ関連事業者となるねらいは。

答 (商工観光課長) 観光協会もそこへ移転することから、連携により、町内のさまざまなアウトドア施設を含め観光施設への誘導を図っていくと聞いている。

問 緑地については県がスケートパーク

や複合遊具などを整備し、こども家族館もリニューアルすると聞いている。うみんぴあ全体の追い風となるが、どう考えるか。

答 (町長) スケートパークはふ

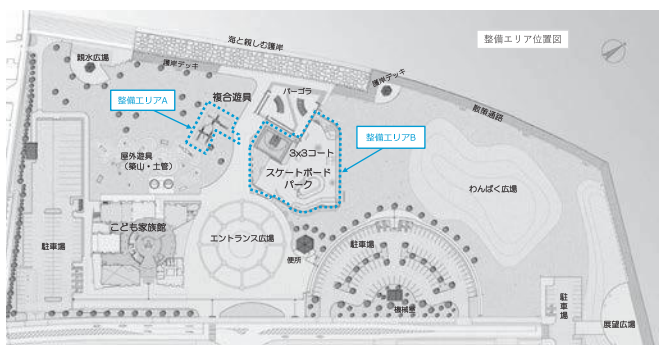
く健康の森嶺南パークとして整備され、こども家族館もリニューアルされる。うみんぴあ大飯は、国道27号線沿いにあり、北陸新幹線開業、北近畿との導線を結ぶ中で、さまざまな点でハブ機能として有効となり、より賑わいが生じるものと考えている。

若狭広域行政事務組合が整備する斎場について

問 令和3年度施政方針における斎場についての真意は。

斎場については、町においても広域利用者の交通の利便性もふまえながら、候補地となる適地の検討を進めているとの意である。

答 (町長) 若狭広域行政事務組合で整備予定である、斎場と最終処分場については、本町と小浜市においていずれかを実施することになっている。



嶺南地域のスポーツ・レクリエーション施設整備(成海緑地)概要

廃炉交付金の減額は理解できない

町長 廃止処置完了までは財政的支援が成されるべきと考える



巧 猿橋

付金制度の延長・新たな制度創設に向けた町長の考えは。

答 (町長) 町としては廃止処置完了までは廃炉前と同様の財政的な支援が成されるべきと考えている。

問 使用済燃料処分方法の確立を示すことを大前提とする40年超原発再稼働の県方針について、町長の考えは。

答 (町長) 中間貯蔵施設計画地点の提示については福井県と事業者との約束事であり、町としては注視し、今後とも事業者と国に前面に立った取り組みを強く求めていく。

問 大飯発電所1・2号機廃炉交付金の率は今年度は0.5であり理解できない。この交

答 (防災安全課長) クリアランス制度に則った廃棄物は、事業者によって活用されると認識している。

問 発電所敷地内に保管されている旧蒸気発生器と格納容器上蓋の長期保管についての町の考えは。

答 (防災安全課長) 事業者は、それらの放射性個体廃棄物について、廃止処置完了までに廃棄すると公表していることから、より適切な取り組みを引き続き求めていく。

問 税法上の扱いと放射線レベルは。

答 (防災安全課長) 発電所からは除却されており、固定資産税の対象にはならない。保管庫内では1時間当たり1マイクロシーベルトである。

学校ICT教育導入の問題

問 過敏症などの無線周波数電磁波の健康への影響が指摘されているが。

答 (学校教育課長) 今回整備したICT機器は国が定める電波防護指針の基準に基づいたものである。

問 家庭でのタブレット利用に関して、端末環境整備と継続的学習の内容は。

答 (学校教育課長) 各家庭のWi-Fi環境を利用させてもらうが、家庭にWi-Fiがない場合は無償でモバイルルーターを貸し出す。また、臨時休校や感染症での学級・学校閉鎖時に利用する。

大飯幼稚園の廃止条例について

問 廃止に至る経緯は。

答 (教育長) 大飯幼稚園は平成24年度から休園となっている。町内の保育園が認定こども園に移行後も特段の問題もなく現在に至っていることから、社会的役割を終えたと判断し廃止した。

問 町立幼稚園の廃止には、何らかのけじめが必要ではないか。

答 (教育長) 平成24年度の休園以降園児も在籍していないことから、閉園式という形はとらず広報誌などにより広く町民へお知らせする。

町補助金等の諸問題を問う



平成23年度大飯幼稚園 最終年度発表会

問 補助金・助成金などの支給基準はどのようにされているか。

答 (副町長) 町の支出する補助金や助成金については、補助金等交付規則や要項の基準に基づき提出書類の内容等を精査し補助要件に合致していることを確認して支給している。

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

ちょっと
深掘り！

佐分利川の浚渫土砂を、石山の産業団地造成工事で盛土として活用します（令和2～4年度で36000㎡の見込み）。他にも盛土として、発電所関係の工事残土を活用することで、全体として造成工事費が約1億円圧縮できました。（P7議案第1号関連）



佐分利川の浚渫（しゅんせつ）は

増水時の災害への対応として、佐分利川の浚渫に取り組むべき。

（平成30年9月議会 原田和美議員）

町長答弁



県と連携しながら町として取り組む

町の最優先課題として、佐分利川の管理者である県に要望し、連携しながら取り組む。



どうなった？



県事業で佐分利川の浚渫を実施

令和2～4年度において河川の浚渫を実施。河口の土砂の浚渫については、状況を見ながら検討すること。



輝く人

輝く人 リターナイズ

下森 弘之 さん
萩原 裕記 さん
木下 仁資 さん
大西 陽子 さん
田中 弘大 さん

議会だよりによりに若手の輝く人が再び戻ってきました。
今回の議会だよりでは、若手の輝く人と広報特別委員会のメンバーで、出前懇談会を開催し、意見交換をおこなった内容の特集として掲載いたしました。
意見交換終了後、議員の仕事場である、役場3階を視察して頂きました。その時の様子などをお伝えいたします。



議員全員協議会室 見学

Q 座る並びの順番に決まりはあるの？
A 議長が真ん中で、両隣が副議長と議長が座り、そのあと各委員長が続きます。



本会議場 見学

Q 全員協議会室は何をするところですか？
A 毎月開かれる全員協議会や月例会、各常任委員会を開催し、白熱した議論が展開されます。
Q 議場はどのような会が行われるのですか？
A 議会に提出された議案の採決を行う、とても大事な場所です。一般質問もこの本会議場で行います。
Q 一般質問は見に来ることができるのですか？
A 後ろにある傍聴席から傍聴することが出来ます。テレビで中継していますが、ここでは独特の臨場感が体感できると思うので、是非みなさんで傍聴にお越しください。
Q (議員から) 皆さんは初めて議会が行われている役場3階に来られたと思いますが、感想は如何でしょうか？
A 木目調で統一されており、少し硬い雰囲気です。
A 普段は来ることがない場所の見学ができ、議員の活動が少し理解できたのは良かったです。

広報委員

おい町議会では、皆さんの意見や想いを伝えるべく日々精進し、議会を身近に感じてもらうよう、これからも努力していきます。

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。
次回の定例会は6月です。傍聴については議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

6月定例会 の予定

会 期：6月4日から6月23日まで（20日間）
本会議：4日（議案提案理由説明）、17日（一般質問）、23日（採決）
委員会：総務・産業建設常任委員会（8日）、予算決算常任委員会（4日）
原子力発電対策・地域振興対策特別委員会（10日）

編集後記

春は例年のことながら進学、就職など新たなスタートの時期です。何かあっても元気に前向きでありたいものです。
議会も令和3年度を迎え、新たな思いで議論が交わされているところです。

議会では、これまでもさまざまな、議会改革を行ってきましたが、「開かれた議会」の実現へ町民との協働、町民参加による議会活動を目指しています。そのため、広報広聴活動の強化充実が重要です。

今回の広報では、皆さまにアンケート調査を行い、今後の「議会だより」の参考とさせていただきます。今号からは、特集を組み、ページ数を増やしました。

冊子は読むか、読まないかは3秒で決まるそうです。
多くの方に読んでいただけるよう委員一同張り切っています。
(堤記)

広報特別委員会

委員長	原田 和美
副委員長	堤 満也
委員	細川 正博
委員	桑田 和弘
委員	田中 秀樹
委員	屋敷 浩道